



# よこはま プロバス通信

No36 2023年2月発行

<https://yokohama1probus.web.fc2.com/TR3.html>

ユーチューブチャンネル purobusyokohama

情報委員会・編集委員

発行所:事務局内

横浜市金沢区並木3-3-10-204

松下方 045-784-6549

## 新年あけましておめでとうございます

～盛大に新春1月例会を開催～



内山会長

明けましておめでとうございます。昨年は、コロナの中でしたが20周年記念移動例会や記念誌発行もでき、プロバス活動も続行出来て良かったと思っております。年が明けてもコロナは続き世間は相変わらず騒がしい状況ですが、皆様はご苦労されて強く生き抜いてきた方ですから、皆様と共に世の騒がしさに負けずに一步一步前に進みたいと思います。今年も皆様と元気に楽しく過ごしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



神谷幹事

あけましておめでとうございます。コロナも3年が経過し、なにかもうウィズコロナが日常化した感があります。

会員の皆様はコロナをものともせず元気いっぱいのことと思います。

今年も「楽しくなければ、プロバスではない！」をモットーに、

「第二金曜日が待ち遠しい例会」「クセになる同好会」を目指して共に楽しみたいと思っております。ご支援のほどよろしくお願いいたします。



新春1月例会に集った元気いっぱいの会員（2023年1月13日）

### 全日本プロバス協議会第10回総会・東京八王子大会（東京八王子PC主催）報告

11月24日（木）13時から全日本PC協議会総会・東京八王子大会が京王プラザホテル八王子で開催されました。コロナ禍のため、2018年の三重大会以来4年ぶりの総会となり、22クラブ180人参加の盛大な会となり、当倶楽部からは内山会長以下16名が参加しました（3ページの写真参照）。

総会で、当会の岩城孝子全日本理事が新副会長に就任しました。コロナ禍の中、4年間ご苦労された古賀会長から、幻に終わった五所川原大会関係

者への謝辞があり、いずれの日か開催実現の期待が述べられました。

歓迎コンサートとして有名な八王子シニア・ダンディーズの合唱と田中三佐代さんのソプラノ独唱、さらに懇親会では「日本遺産八王子芸妓衆踊り」が披露されました。

懇親会では、当会の森山功全日本顧問から、北九州、五所川原PCへの謝辞、八王子へのエール、そして故吉川初代全日本幹事長への熱い感謝の言葉がありました。

また翌日の高尾山エクスカッションへも岩城新副会長他多くの会員が参加しました。



### 【11月例会】（第243回）

2022年11月11日（金）横浜YBS南幸ビルで11月例会が開催されました（23名参加）。

内山会長から、「雲一つない快晴の中、私は朝から地元二宮駅周辺の花壇整備のボランティア活動をしてきました。皆さんも元気な内は動いていただきたいと思います」との挨拶がありました。

新入会者渡辺昭男氏について、荻原会員から「横浜市役所の先輩で、会員に知人が多く、既にパソコン勉強会にも参加してラインの学習をし、積極的に活動を開始しています。」との紹介がありました。

渡辺昭男氏の挨拶は、この後の「会員放談」と併せて実施。

会長から、渡辺新会員へ会員名簿、ブルゾン、プロバスバッジを進呈しました。

次に11月誕生月の富永・森山・松原・加藤道子・神谷各会員に会長からお祝が贈呈され各会員から挨拶を頂きました。

\*11月の会務報告（理事会協議及び決定事項）

- ・渡辺昭男様の入会承認
- ・11/24（木）全日本プロバス協議会総会（東京八王子PC主催）に16名参加する。

\*各委員会報告

- ・例会委員長から；12月はクリ

スマ例会。プレゼント持参のこと。

- ・情報委員長から；本日プロバス通信第35号を配布した。10月例会記事等をホームページに掲載、是非見て下さい。入会の葉を作成中、会員の協力をお願いします。

- \*全日本プロバス協議会；11月の第10回全日本総会で、会長と事務局が北九州から八王子に移る。4年前に会長を引き継いだ北九州の古賀会長からのメッセージを披露

（この間の活動報告と八王子での再会期待、お礼の文読み上げ。HPに登載）。

- \*事務局からの報告

（6ページ参照）

- \*同好会活動の報告

- ・ボウリング同好会；11月15日は4人参加予定、会場は江の島ボウル。

- ・ゴルフ同好会；11/21（月）太平洋CC相模 3組

- ・パソコン同好会；11/18（金）県民センター。海山同好会；春まで休止 その他は休会中

- \*会員放談（5ページに掲載）

渡辺昭男新会員

11月の歌 「里の秋」を全員で斉唱し閉会

〈12月例会〉（第244回）

2022年12月9日（金）12時から横浜YBS南幸ビルで12月クリスマス例会

が開催されました（25名参加）。冒頭、内山会長から「先月末、八王子で全日本プロバス協議会の総会・懇親会があり、当倶楽部から大挙16人で参加して横濱の存在を誇示することが出来ました」との報告がありました。

12月は横浜山手RCから2名のゲストがあり、櫻井富美男幹事から12月14日（水）の山手RCクリスマス例会への参加要請がありました。また、当会の豆生田会員の弟子になった櫻井幹事さんから「小話」の披露がありました。

次に内山会長から、12月誕生の加藤豊会員、岡部会員、荻原会員に会長からお祝いが贈呈され、各会員からご挨拶がありました。

\*11月理事会協議及び決定事項報告は、特になし

\*各委員会からの報告

- ・例会委員長から；例会後クリスマスパーティーでプレゼント交換抽選会を実施。1月例会は賀詞交歓会で、新年の1分間スピーチをお願いする。

- ・情報委員長から；11月例会記事と八王子での全日本総会・懇親会報告記事をホームページに掲載している。入会の葉は新年に発行。プロバス通信次号は2月発行。ご協力をお願いする。

- ・全日本プロバス協議会報告；（岩城全日本副会長から）11月24日に八王子で第10回全日本総会が開催され、全日本の副会長になりました。未熟ですが当倶楽部の代表として選出されたと思いますので、皆さんのご協力をお願いします。

副会長就任の抱負概要を披露（全日本協議会会報に登載）。

（概要）プロバスは、「楽しく」が合言葉。この3年間コロナで十分な活動が出来ませんでした、これからは私のモットー「今できることを一生懸命」の心持ちで、楽しいプロバスを大きく育てていき



冒頭に内山会長から新年の挨拶と山手ロータリークラブからのゲスト櫻井富美男幹事の紹介がありました。

次にビジターの菊地百合子さんの紹介が小野寺会員からありました（長年の友人で、とてもチャーミングな方ですので、よろしくお願ひします）。

\*1月20日の理事会で承認後、入会の予定（神谷幹事）

次に1月誕生の倉嶋伸会員、丹野会員、倉嶋康会員、松下会員に内山会長からお祝いが贈呈されました。引き続き長寿会員紹介とお祝い贈呈が行われ（卒寿 倉嶋康会員）、倉嶋康会員から「九十歳になったが、九（く）十（そ）じじい（爺）にならないようにしたい」との挨拶がありました。

\*1月の会務報告（理事会協議及び決定事項）  
懇親会を伴う例会費は@3500円とする（6月、12月、1月の3回）。

たいと思います。

\*事務局報告

（6ページ参照）

\*同好会活動の報告

・ボウリング同好会；12月14日（水）12時 江の島ボール。

・ゴルフ同好会；来春3月末予定

・パソコン同好会；12月12日（月）14時 県民センター

・海山同好会；春まで休止

その他は休会中

以上で例会は閉会（倉嶋康例会委員長）

〔クリスマスパーティー〕

倉嶋康例会委員長の司会で開催し、岩城全日本副会長から「楽しく過ごしましょう。本日は松原会員のご尽力で、八王子の総会時のコンサートに出演したプロのソプラノ歌手とピアノ伴奏者の来場が

実現しました。」との開催の挨拶がありました。

\*ソロコンサート概要 ソプラノ 田中三佐代二期会会員 ピアノ伴奏 畑野かん奈氏

「独唱曲目」 アベマリア ヤシの実 きよしこの夜 オーソレミヨほか

盛大なコンサート終了後、大久保会員の音頭で乾杯し、歓談・会食、プレゼント交換に移りました。最後に全員で「ジングルベル」を合唱し、関口副会長の閉会の言葉でお開きとなりました。

（パーティー前に関口副会長作成の当倶楽部活動記録動画を披露）

〈1月新春例会〉（第245回）

2023年1月13日（金）12時から横浜YBS南幸ビルで1月新春例会が開催されました（27名参加）。



一年を締めくくったクリスマス例会（2022年12月9日）

実施は2023年6月の総会懇親会からとする。飲み物代が不足するため。

\*各委員会からの報告は次の通りです。

・例会委員長から；4月移動例会4月14日（金）は横須賀の見込み。近く元統合幕僚長と相談する。国際情勢が動いているので、どの自衛艦を紹介できるか不明確。会食場所については検討中。

\*情報委員長から；関口副会長作成のホームページ掲載記事（12月クリスマス会）閲覧の要請。入会の葉の暫定版を本日配布。修正あれば校正して最終版作成する。

\*全日本プロバス協議会報告（岩城全日本副会長）全日本プロバス協議会の会報誌「ひろば」第6号が発行されたので見て欲しい（岩城副会長挨拶も掲載）。

\*事務局からの報告（6ページ参照）

\*同好会活動の報告

・ボウリング同好会；1月17日（火）12時 江の島ボウル

\*ゴルフ同好会；3月27日（月）大秦野CC

\*パソコン同好会；未定（関口世



も行われました。次に歓談&会食時に、新春・会員の1分間スピーチを全会員から頂きました。（全スピーチをホームページに掲載しています。）

話人）

海山同好会；春頃予定 その他は休会中

倉嶋康例会委員長の挨拶で閉会し引き続き賀詞交歓会を開催。

〔新年賀詞交換会〕

倉嶋康例会委員長の司会で開始森山会員の音頭で元気に乾杯を行った。

恒例となった新春寄席開催に当たり、前座を急遽神谷幹事が担当し「山手線」を披露。

その後、本番の新春・特別寄席（落語）が参遊亭遊助氏（豆生田会員）により披露されました（演題；時そば）大好評でアンコール

1930年生まれの鈴木国彦会員の話；「桃クリ3年柿8年という所で庭に柿を植えた。実が成るまで育てれば100歳になる。楽しみだ。」

また、倉嶋康会員90歳は今年「瀬戸内海のしまなみ海道サイクリングロード70kmを走る」と宣言。

今年も、多くの会員から日本酒やワインの寄贈を頂き、大いに盛り上がりました。

最後に今月の歌「一月一日」を合唱し、関口副会長の閉会の言葉でお開きとなりました。



テーマ「横浜博覧会雑感」—1989年3月24日から9月30日まで191日間—入場者、1250万人目標

<私の役割>



事務総長・高木文雄国鉄総裁の博覧会協会事務局の広報責任者になり、会員190人のプレスセンターを取り仕切った。当時の協会は、各パビリオンのスタッフ、民間団体からの派遣職員、横浜市職員で構成されていた。

<開催前に出された課題とその対応>

当時の竹下首相が開会式テープカットに参加したいとの官邸意向があり、渡辺が協会の責任者として「前向き回答」の調整を行った。官邸記者クラブから「当日、会場案内のバスを用意してほしい」との要望が出てこれに協会幹部から安全に運行できるかとの意見が出された。また、協会のプレスセンター記者クラブからクレームが出て、渡辺が調整説得に大変苦労した。最終的に了解され、オープンセレモニーは無事に終了した。

<有名人の視察>

皇太子殿下（現天皇）は、高木事務総長がご案内クウェールアメリカ合衆国副大統領は、渡辺昭男が案内した。  
朱鎔基 上海市長；横浜市の友好都市である上海

市のトップが来訪。案内説明の司会進行を渡辺が担当した。

<開催初期（4月～6月）の入場者数（目標では1日当り65,400人）>

一日当り3万人～4万人で、雨の日も多く目標達成が心配された。

191日間フル出勤で諸問題に対応休みなしで出勤ししばしば午前様になった。午前1時過ぎにタクシーで帰宅時、起きたら東京で、帰宅は午前4時、6時には出勤という失敗談もある。

<運営上最大の危機を8月下旬に迎える>

会期末まで1か月の8月下旬、入場者数890万人で360万人不足していた。目標を1,000万人程度に下方修正すべきと記者クラブから責められたが、最終段階にドット入場者が増加するので必ず成功すると言い続けた。

<成功できた横浜博関係者に感謝、感謝>

その後來場者は激増して、目標を83万人上回る1,333万7,150人となった。

来場者、プレスの方々、コンパニオン、民間派遣スタッフなど関係者の皆さんにひたすら感謝です。

その年の雑誌「SPA!」10月号で「家永三郎一言」欄の次に、渡辺昭男の「横浜博覧会は“忍耐”のひとつこと」が掲載された。大変貴重な経験をさせて頂いた。

（2022年11月例会で）

写真は渡辺さんが記念に所持している「ブルアちゃんバッチ」



テーマ - 「宇宙と子供たち」(21世紀への展望)

サブテーマ - 「新しいライフスタイル」「子供の世界」

1989年（平成元年）3月25日から10月1日の191日間にわたり開催。横浜みなとみらい21地区の「お披露目」となった。会場面積は69ヘクタール。埋立地の大規模再開発地区で街びらきとともに地方博覧会を開催するという手法は、1981年（昭和56年）にポートアイランドで開催された神戸ポートアイランド博覧会（ポートピア'81）に倣ったものである。

マスコットキャラクターの「ブルアちゃん」は手塚治虫がデザインした。手塚は開幕を見届けることなくこの年の2月9日に没しており、最晩年の作品の一つとなった。「ブルアちゃん」のキャラクター商品の売上は20億円以上に達した。



全国から多くの人が集まった

## ヒマラヤで、風は揚がるか川

会員 倉嶋康(香米)



隊員9人のうち3人もが成田を出発した時に行方不明になってしまった。でも隊長である私がそれほどあわてなかったのは、その3人がいずれも海外旅行に慣れていたので。畑山善行は医師でアメリカ留学の経験がある。守谷紘一も留学経験があるし、建設会社社長という立場からよく海外へ出かけている。ディルマヤに至ってはネパール女性だから今回の目的地であるカトマンドゥと始終行き来しているベテランです。

カトマンドゥへ行くためには香港かバンコクで一泊して乗り換えなくてはなりません。現在員6人の隊員は香港でホテルにチェックインしたあと夕食のため町に出ました。とりあえずの乾杯をしてホテルに戻ると、フロントで宿泊手続きをしている男女がいます。よく見たら守谷とディルマヤではありませんか。

話によるとディルマヤのビザが出国手続きでひっかかって、守谷が付き添ってやりとりしている間に搭乗する便が出てしまった。仕方なく後の便で追いかけてきた。ドクター畑山は一緒でなかったということでした。まあ、いいや。行方不明は1人ですみそうだと8人で乾杯をし直したのです。

さてその後は一行つつがなくネパール入りを果たしました。カトマンドゥ空港にはディルマヤの弟パサンや妹のセティマヤたちが親戚を連れて迎

えに出ています。ホテルの部屋はその人たちが手際よくおさえてくれてあったので、荷物だけを使いの人に託して身軽になった私たちは早速宮殿まで散歩。そういえばここは王制の国でした。

驚いたのは私たちの横を牛や馬も、いやサルまでが野放しで一緒に歩いているのです。なるほど、ここは仏教国。人間も動物も仏さまは公平に見守って下さっているのだと感じ、それに比べて日本の仏教やお寺は形式化しているなと思いました。

後日談になりますが、このあと日本に帰国(?)したディルマヤは日本の男性と結婚して、東京・恵比寿にネパールレストランを開店、今も繁盛し



(写真:早速案内されてカトマンドゥ市内の見物)

ています。それだけでなく親戚を次々に呼び寄せ、パサンは泉岳寺横に、セティマヤは千葉・幕張にそれぞれレストランを開き、成功しているのは仏様のお陰かもしれません。(つづく)

### 事務局報告 松下尚雄事務局長



- ・プロバスの世界組織プロバス・グローバル (PG) への加入要請が、多摩PC会員から来ている。プロバスクラブは、オーストラリアや英国に多い。日本はまだ少ない。

- ・英語勉強会は3月頃再開目標(ダニエル山田会員回復中)。

- ・例会での理事会報告は、議事録に基づき各担当から報告願います。

- ・ブルゾン移動例会、新年会、総会、クリスマス例会時に必ず持参して下さい。

- ・全日本協議会の会費1万円を納入した。賛助

会費1万円への協力もお願いしたい。

- ・山手RCクリスマス会へは当会から4名参加した。

- ・新年会へのたくさんの飲み物寄付、ありがとうございました。

### 編集後記



2023年最初のプロバス通信をお届けします。当会は、コロナに負けずに各種活動を活発に続け、4年振りの全日本PC

総会へも大勢で参加しました。記事も大変豊富になっていますが、会員の寄稿も歓迎します。今回も関口氏、森山氏はじめ多くの皆様のご協力で行われました。厚く感謝いたします。(情報委員長・荻原信吾)